

鼓阪小学校保護者説明会での質疑応答、意見等要旨（令和6年10月23日）

◇説明内容

新校舎建設工事に関する説明事項（教育政策課・建築デザイン課より）	
・新校舎建設工事に関わるこれまでの経緯 8月9日開札予定であった新校舎建設工事の入札が不成立 8月30日令和6年度奈良市議会9月定例会に、建設工事費債務負担行為額を12億2,400万円増額する補正予算の議案を提出 9月25日行財政改革及び公共施設等検討特別委員会で議案が否決 9月30日令和6年奈良市議会9月定例会で議案が否決	
・議会で審議された主な論点 「増額約12億円について」、「工事期間について」、「開校時期について」が主な論点であった。	
・新校舎建設に係る現状 当初の予定では10月から新校舎建設工事に着手することになっていたが、現状は議案の再提出にむけて精査中である。	
・今後の予定 現在、工事費や工期の見直し等について精査中である。詳細な内容については、決まり次第お知らせする。	
・補足事項 建設工事は建築、電気、機械の工種で構成されているが、今回電気と機械の物価上昇が予想を上回るものであった。	

◇質疑応答内容

統合再編について		回答
1	鼓阪小学校と佐保小学校の統合再編をなぜ強引性急に進めるのか。何が子どものためなのか。	子ども達にとっては1年、1年がとても大切である。子ども達が、日常的に色々な意見に触れたり、時には衝突したりする中で人間関係が育つという教育環境が大切であると考えている。そのような教育環境となるよう、過小規模ではなく、適正な規模の環境を子ども達に整えてあげたいと思っている。
2	複式学級の何が良くないかわからない。	令和9年度には児童数の推計によると複数の学年が1つのクラス編成となる複式学級となることが想定される。複式学級となると45分間の授業時間の中で1人の教員が2学年それぞれの授業を指導することになる。
3	子ども達は鼓阪小学校に愛着をもっている。鼓阪地域の活性化案は以前地域から提案していたが、活性化案を実行せずなぜ統合再編するのか。	150年の歴史を持つ鼓阪小学校に子ども達が愛着を持ち、誇りに思っていることについては、「アイデンティティ」を育てるという、奈良市の教育の基本としていところでもあり、一番基礎だと思う。そのような教育を実践している鼓阪小学校を否定するものではない。 また、地域活性化について色々な取組をしていくことについても非常に良いことであると考えている。 一方で、教育の観点においては、子ども達の大切な時間を、適切な教育環境で1日でも早く過ごさせたいと考えている。
4	以前の説明会で児童数が減ると教員の人数も不足するとあったが、教員不足の解消にも投資するべきではないのか。	教員は県費で配置されているため、教員人数については、県、国に増員を強く要望している。
5	安全で快適な学校は必要であると思うが、統合再編をする必要はない。他の学校にも予算を使うべきではないのか。	鼓阪、佐保両小学校の児童に、これからの教育のモデルとなるような学校で学ばせたいとの思いで取り組んでいるが、奈良市全域の子ども達に対してもその思いは持っている。 他の学校については校舎の長寿命化を図っていく際には、新しい校舎のコンセプトを踏襲し施設整備を行っていきたい。
6	令和8年4月の開校スケジュールをずらすことは無いと認識していたが、変更がありえるのか。	令和8年4月の開校を目指して取り組んできたが、補正予算案が議会で否決となり、新校舎の完成時期がさらにずれ込むこととなった。新校舎完成時期も考慮し、保護者や地域の方からの意見を聞きながら開校時期については検討し、また今後の議会での審議の状況も踏まえて決定していきたい。
7	統合再編について、地域との合意のもと進めてきたと認識しているとのことであるが、何をもって合意されたと考えているのか。鼓阪小学校PTA会長は、統合再編に向けた若草中学校区新小学校開校準備委員会に出席していない。	鼓阪・佐保両自治会を中心に立ち上げていただいた「若草中学校区新小学校開校準備委員会」を窓口として調整している。この準備委員会は両地域ともに統合再編に協力的に進めていこうと決定し集まっていたものと認識している。 鼓阪小学校PTA会長とも先日意見交換を行ったが、その中で準備委員会に出席をお願いしたところであり、連合会長からも参加のお願いをしていた聞いていて。地域の方々が協議する場であるため、今後も出席をお願いしていきたい。
8	子どもの意見を聞かずに統合再編を進めていくのか。	子どもの意思表示は非常に大切である。一方、子どもが置かれている環境については、大人のしっかりとした判断が必要であるため、教育委員会として責任をもって進めていく。
9	鼓阪小学校の校区は、佐保小学校が開校した時に変更になっている。規模の適正化というのであれば、佐保小学校に移った校区を戻せばよいのではないのか。	校区については、鼓阪小学校と佐保小学校を1つの校区とするという判断のもと、統合再編を進めている。 （校区分割の検討は大規模校の場合である。佐保小学校は適正規模であり、校区を分割し規模を縮小することはない。）

10	通学路には危険箇所があるが、子ども達の通学路の安全をどのように確保していくのか。	通学路については、学校・自治連合会・PTAの代表者で検討いただき提出いただいた。現在の鼓阪小学校、佐保小学校の通学路を合わせたものに、新たに道路を数か所追加したものが開校時の通学路案となっている。今年度6月14日に鼓阪・佐保小学校合同で通学路の安全点検を実施した。今後、安全対策を実施し、保護者の皆様に報告する予定である。 通学路の安全点検については、来年度も引き続き実施する予定である。
11	統合再編ありきではなく、もう少し幅広い議論を進めていくつもりはないのか。	統合再編に合意していないというご意見もあれば、子ども達のために早く統合再編を実施してほしいというご意見もある。多様なご意見を聞きながら進めていく必要があると考えている。 基本的には開校準備委員会の中で協議し、情報発信を行っていきたいと考えている。
12	鼓阪地域に住んでいる子どもの約半数しか、鼓阪小学校を選んで通っていないと聞いているが、鼓阪小学校で良い教育が実践されていないからではないのか。	鼓阪小学校においてもしっかりとした教育が行われていると考えている。鼓阪小学校で学ぶか、別の学校を選ぶのかということは、個人のお考えによるところである。個人が学ぶ場所を多様な選択肢の中から選ばれているので、判断することは難しい。
13	地域、PTAの声を今後も聞いていくつもりはないのか。	協議の窓口は若草中学校区新小学校開校準備委員会であると考えているが、適時、保護者や地域のご意見もお聞きしながら統合再編に向けて、適切に進めていきたい。また、さくら連絡網などを通じて適切に情報発信も行っていきたい。 子どものために本当に何が良いのかをしっかりと判断し取り組んでいく。

意見	
1	議会で補正予算案が否決になり喜んで、本日の説明会に参加した。
2	統合再編により、良い学校にさせていただけることや、良い環境にさせていただけるとのことであるが、ありがた迷惑である。
3	署名や保護者アンケートなど、私たちの意見をしっかりと聞いてほしい。
4	鼓阪小学校で学ぶということは、ここの地域ならではの、文化財を守っていく未来の担い手を育てていくことに繋がる、非常に大切なことであると思う。